

賛 助 会 員

理研食品株式会社 (〒985-0844 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

株式会社KANSOテクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

株式会社 Seed Bank (〒606-8267 京都府京都市左京区北白川西町 76-1)

日本藻類学会和文誌「藻類」では広告を募集中です。詳細は編集委員会委員長までお問い合わせください。

皆様のご投稿をお待ちしています

和文誌「藻類」は会員の皆様の原稿で成り立っている雑誌です。原著論文のみならず、総説やミニレビュー、学術資料、その他の記事があります。ご投稿に際しましては、第 71 巻 1 号の p.30-33 に掲載されました投稿規定、執筆要項、投稿票、別刷・カラー印刷等申込書をご覧ください。投稿区分、カラー印刷料金や別刷料金と、投稿者が査読候補者を指名し、希望する論文通信担当編集委員に投稿できるなどの審査体制が示されております。投稿規定、執筆要項、投稿票は日本藻類学会の WEB サイト (<http://sourui.org/publications/index.html>) からダウンロードでき、論文通信担当編集委員の連絡先も WEB サイトで確認できます。現在は電子メールでのデジタルデータの投稿を受け付けていますので、投稿票は WEB サイトからダウンロードしてご使用ください。皆様のご投稿をお待ちしています。(編)

編集後記

今号より和文誌編集委員会委員長を担当いたします北海道大学の仲田崇志です。長らく編集に関わってきましたが、委員長の仕事はまた勝手が違い、目を白黒させながら進めてきました。前任の(善人の)岩滝先生には幾度となく助言を求めてご迷惑をおかけいたしました。また編集委員の皆様や株式会社イセブの皆様にもお助けいただき、感謝するばかりです。

次号以降も、引き続き期日通りの順調な発行を維持するとともに、読み応えのある紙面を目指したいと思います。とは

いえ紙面は投稿する執筆者ありきのことです。投稿しやすい和文誌『藻類』であるよう、色々と工夫していければと考えております。会員の皆様におかれましては是非お気軽に報文(論文)・記事のご投稿お願いいたします。前例があればハードルも下がると思います。こんなものを投稿しても大丈夫? といった不安がありましたら、ご遠慮なく仲田までご相談をお寄せください。

(仲田 崇志)

表紙 日本藻類学会第 50 回大会ロゴ

制作者: 中山 剛

制作者より: *Synechocystis* (藍藻), *Porphyridium* (紅藻), *Cyanophora* (灰色藻), *Chlamydomonas* (緑藻), *Cryptomonas* (クリプト藻), *Chrysochromulina* (ハプト藻), *Undaria* (不等毛藻), *Amphidinium* (渦鞭毛藻), *Amorphochlora* (クロララクニオン藻), *Eutreptia* (ユーグレナ藻) と、藻類の 10 群を示しています。また、筑波山のシルエットを右下に配しています。